

1. Adobe Analytics の追加条件

- 1.1. **定義** 本追加条件に別段の定めがない限り、本追加条件の用語はアドビ基本利用条件に定める意味を有します。
- 1.1.1. **CPMM**：百万あたりのコストを意味します。
- 1.1.2. **プライマリーサーバーコール**：お客様サイト上の各ページビュー、各離脱リンク、各ダウンロード、各カスタムリンク、またはその他の各イベントであり、Adobe Analytics にアクセスし、使用するために、お客様がタグを付けたもの、タグを付けることを認めたもの、またはタグを付けさせたものを意味します。タグが付いた各ページビュー、各離脱リンク、各キャンペーンコンテナリクエスト、各ダウンロード、各カスタムリンク、またはその他の各イベントは、1回のプライマリーサーバーコールとして数えられます。
- 1.1.3. **レポートスイート**：お客様が指定した特定のトラフィックソースに関連する、Adobe Analytics プラットフォーム内におけるお客様データのレポジトリを意味します。お客様は、オンデマンドサービスにアクセスして使用するために、インターネットおよび通信に関する十分な要件を自己の責任において維持するものとします。
- 1.1.4. **セカンダリーサーバーコール**：お客様サイトに重複する各ページビュー、各離脱リンク、各ダウンロード、各カスタムリンク、またはその他の各イベントであり、お客様がかかるお客様サイトにおいて、マルチスイートタギングまたは VISTA ルール（訪問者の識別、区分、変換アーキテクチャ）を可能にするものを意味します。
- 1.1.5. **ユーザー**：アドビが独占的に提供する固有のパスワードとログイン ID を使って、Adobe Analytics にアクセスすることがお客様によって認められ指定されているお客様の社員のみを意味します。
- 1.2. **使用** (i) **ユーザー** アドビセールスオーダーにおいて明確に限定されない限り、オンデマンドサービス用のユーザーパスワードとログイン ID はお客様とアドビが合意した数のみお客様に提供されます。お客様は、オンデマンドサービスにアクセスする各ユーザーが、オンデマンドサービスにログインした場合にユーザーに義務付けられた利用条件に従わなければならないことを了承するものとします。(ii) **データ** 本 PDM またはアドビセールスオーダーに別段の定めがない限り、お客様サイトから収集されたデータ（アドビがホストして管理するオンプレミスソフトウェアに関連して収集されたデータを含みます）、およびお客様または関連会社によって Adobe Analytics プラットフォームにインポートされたデータは、収集または受領された日から 25 か月が経過すると、アドビにより永久的に削除されます。

- 1.3. **サポート** アドビは、お客様が指定した最大 5 人のテクニカルサポート問い合わせ担当者に対して、Adobe Client Care への年中無休で 1 日 24 時間無制限のアクセスを提供します。サポートには、電話、チャット、および Adobe Client Care からの電子メールサポート、サポート問題管理のためのオンラインインターフェースへのアクセス、検索可能なナレッジベースへのアクセス、およびオンデマンドトレーニングモジュールへのアクセスが含まれます。

2. Adobe Analytics の製品およびサービスディスクリプション

- 2.1. **Adobe Analytics – Standard Edition** Adobe Analytics Standard Edition には以下のコンポーネントおよび機能が含まれます。
- 2.1.1. **レポート (Reports)** アドビは「トラフィックレポート」、「コンバージョンレポート」、「サクセスイベント」の 3 つの分野でレポート機能を提供します。各レポートには最大で 500,000 の固有の値またはデータ要素が含まれます。
- 2.1.2. **パス分析 (Path Analysis)** パス分析により、オンライン訪問者のパスの報告およびパターンを特定するために、全パスの分析ができます。また、ページネーム、サイトセッション、またはカスタムインサイトの変数に関するトラフィック変数のパスが作成されます。パスの作成により、前および次の各ページフローレポート、およびパスファインダーレポートなどのレポートが可能になります。
- 2.1.3. **リアルタイムセグメンテーション経由のレポートスイート (Report Suite-based Real-Time Segmentation)** 特定のレポートスイート、つまり、単一のユニットまたはアカウントとして、レポート作成のためにタグが付けられている指定 Web ページ、Web サイト、またはドメインに適用されるレポートグループを使って、トラフィックをセグメント化できます。
- 2.1.4. **User Log-ins (ユーザーログイン)** アドビは、オンデマンドサービスのレポートインターフェースへのアクセスを許可されているすべてのユーザーに対し、固有のログインを提供します。2 人以上のユーザーが同じログイン ID を同時に使用することはできません。
- 2.1.5. **ClickMap サクセスイベントの表示 (ClickMap – Display Success Events)** クリックイベントや購入イベント（例えば、購入回数、購入点数、売上高）などの「サクセスイベント」を ClickMap に表示できます。
- 2.1.6. **サクセスイベントパーティシペーション (Success Event Participation)** あるサクセスイベントについて、どのトラフィックおよびどのコマース変数が寄与したかを示すレポートが作成されます。さらに、カスタムイベントについてはページパーティシペーショントラッキングが、購入イベントについてはトラフィックプロパティパーティシペーションのトラッキングが可能になります。

- 2.1.7. **純訪問者数 (Unique Visitors)** 各レポートスイートへの純訪問者数を日次、週次、または月次でモニターできます。さらに、オプションとして、ページ、チャンネル、またはその他のトラフィックプロパティで、より細かいレベルで日次、週次、または月次で特定の訪問者を測定することも可能です。
- 2.1.8. **マルチサイトロールアップアカウント (Multi-Site Roll-up Accounts)** この機能により、複数のレポートスイートから、データを利用地域別または利用組織形態別に集計することによって、複数のお客様サイトにわたる訪問者の行動の概観が得られます。最大 200 のレポートスイートからのデータを含み、毎日更新されます。
- 2.1.9. **クロス集計 (Data Correlations)** この機能により、お客様サイトまたはレポートスイートの同じページで生じる 2 つ以上のトラフィック変数の関連性を閲覧することができます。クロス集計は、1 レポートスイートにつき、1 変数あたり最大 500,000 の固有値に対応しています。
- 2.1.10. **コンバージョンサブリレーション (Conversion Sub-relations)** この機能により、2 つ以上のコマース変数の関連性を閲覧し、どのような組み合わせがサクセス指標およびイベントに影響しているかを分析できます。
- 2.1.11. **マーチャンダイジング (Merchandising)** プロダクトパフォーマンスの分析と、クロス訪問追跡を含むさまざまなマーチャンダイジングチャンネルにおいて、プロダクトのパフォーマンスがいかに異なるかを分析できます。
- 2.1.12. **ジオセグメンテーション (GeoSegmentation)** この機能により、訪問者の地理的な位置を割り出すことができます。
- 2.1.13. **ヒエラルキーレポートング (Hierarchy Reporting)** この機能により、階層の最高レベルでデータを集計し、下位のレベルの詳細まで掘り下げることにより、Web サイトのセクションおよびサブセクションへのトラフィックを分析することができます。
- 2.1.14. **ダイレクトデータフィード (Direct Data Feed)** この機能により、フルクリックストリームまたはサマリーレベルデータの日々のエクスポートを受け取ることによって、お客様の社内データウェアハウスの Adobe Analytic データを活用することができます。
- 2.1.15. **フルサブリレーション機能付追加的コマース変数 (Additional Conversion Variables with Full Sub-relations)** この機能により、あるコマース変数から別の変数へ掘り下げることによって、詳細なレポート機能にアクセスすることができます。
- 2.1.16. **アドバンスインスタストラッキング (Advanced Instances Tracking)** サブリレーションの「インスタンス」(すなわち、サーチエンジン、サーチキーワード、参照ドメイン)をトラッキングし、分析することができます。

- 2.1.17. **データソース (Data Sources)** この機能により、自社内のデータストアからデータを Adobe Analytics プラットフォームにインポートできます。この機能の目的において、インポートされたデータ 1 行が、料金請求上 1 回のプライマリーサーバーコールと同一視され、適用されるアドビセールスオーダーで規定されるプライマリーサーバーコール料金に従って請求されます。
- 2.1.18. **タグ管理 (Tag Management)** この機能により、特定の製品およびサービスを有効にするためにタグライブラリをホストして管理できます。
- 2.1.19. **レポートビルダー (Report Builder)** この機能により、Microsoft Excel にお客様データを挿入し、定義済みまたはユーザー定義されたスケジュールおよび命令セット（それぞれの命令セットをスケジュールされたレポート (**Scheduled Report**) といいます）に基づいてデータを送信することができます。スケジュールされたレポートは 1 回につき 10 件に制限されています。また、2 人以上のユーザーが同じログイン ID を同時に使用できません。
- 2.1.20. **データウェアハウジング (Data Warehousing)** この機能により、利用可能なセグメント変数によってフィルターされたカスタムレポートの生成、訪問者と行動のトレンドを理解しそれに対応するために、カスタムの訪問者セグメントの定義、およびデータディメンションの関係、訪問者の行動、コンバージョンレート、売上高などのサクセス指標の分析ができます。
- 2.1.21. **インテグレーションデータソース (Integration Data Sources)** この機能により、独自の「トランザクション ID」を Adobe Analytics プラットフォームにインポートできます。この機能の目的において、インポートされたデータ 1 行が、料金請求上 1 回のプライマリーサーバーコールと同一視され、適用されるアドビセールスオーダーで規定されるプライマリーサーバーコール料金に従って請求されます。
- 2.1.22. **ジェネシスインテグレーション (Genesis Integrations)** この機能により、第三者ツールからのデータを Adobe Analytics プラットフォームに統合できます。第三者ツールのプロバイダーはインテグレーションの料金を請求できます。料金が発生した場合、お客様とプロバイダーで支払います。
- 2.1.23. **Web サービスアプリケーションプログラミングインターフェース(API) (Web Services Application Programming Interface (API))** この機能により、Web サービスベースの API を介して、お客様データにプログラムでアクセスすることが可能になり、ダッシュボードおよび API においてお客様データを自動的に処理するその他のレポートングアプリケーションを構築できます。この機能の目的において、1 回の API リクエスト（レポートリクエスト、ステータスチェック、およびレポート取得を含みますが、これらに限定されませんが、料金請求上 1 回のプライマリーサーバーコールと同一視され、適用されるアドビセールスオーダーで規定されるプライマリーサーバーコール料金に従って請求されます。

- 2.2. **Adobe Analytics – Premium Edition.** Adobe Analytics Standard Edition（上述）で定める条件は Adobe Analytics Premium Edition にも適用され、さらに以下の追加条件が適用されます。Adobe Analytics Premium Edition には以下の追加コンポーネントおよび機能が含まれます。
- 2.2.1. **レポート (Reports)** この機能により、Adobe Analytics 環境で収集、保存、処理されたデータへの接続とクエリを行い、視覚的な分析とレポート作成ができます。具体的には、データ検出、マルチディメンション分析、動的セグメンテーション、データのビジュアル化、視覚的アラート表示、システム管理など、データ駆動ビジネスの専門家のための機能があります。
- 2.2.2. **柔軟で安全なアクセスコントロール (Flexible and Secure Access Control)** この機能により、システムコンポーネントからのアクセス要求の許可および標準ベースの公開キーインフラストラクチャを介したアクセス制御設定ができます。公開キーインフラストラクチャとは、Lightweight Directory Access Protocol インフラストラクチャサポートを含む、電子情報を安全に交換するためのデジタル証明書の管理を目的としたセキュリティ管理システムです。
- 2.2.3. **エクスターナルデータアクセス (External Data Access)** この機能により、公開 API が提供され、第三者のシステムによるデータアクセスが可能になります。
- 2.2.4. **ユニバーサルデータローディング (Universal Data Loading)** この機能により、構造化されたフラットファイル、XML ファイル、および ODBC 接続を介して、データソースから柔軟で拡張可能かつ連続的な自動によるデータの読み込みが可能になります。
- 2.2.5. **データインテグレーション (Data Integration)** この機能により、共通キーを含む外部ルックアップテーブルのデータとイベントデータの統合ができます。
- 2.2.6. **データディメンショナライゼーション (Data Dimensionalization)** この機能により、柔軟なデータスキーマおよび複雑な完全相関のディメンションモデルサポートの作成が可能になります。
- 2.2.7. **メトリクスアルジブラ (Metrics Algebra)** この機能により、ユーザー定義の計算方法を相関性のあるディメンションモデル全体に適用し、これを反映したものの永続的な利用が可能になります。
- 2.2.8. **アドホックビジュアルクエリおよび分析 (Ad Hoc Visual Query and Analysis)** この機能により、アドホックのポイントアンドクリックによるクエリ定義が可能になり、複数のグラフと表形式で即座にまたは増分ずつ結果を表示して、複雑な情報が分かりやすくなります。

- 2.2.9. **ダイナミックセグメンテーション (Dynamic Segmentation)** この機能により、セグメントのアドホックな定義、適用、およびエクスポートが可能になり、利用可能なマルチディメンションデータに対して定義可能なクエリーにフィルターを実行できます。
- 2.2.10. **アドホックレポートデザイン (Ad Hoc Report Design)** この機能により、ポイントアンドクリックによる詳細レポートの作成およびスケジュールされた詳細レポート出力の設定が可能になります。
- 2.2.11. **地理分析 (Geographic Analysis)** この機能により、地球の高度な視覚化と関連する機能を提供して、データの地理的なプロットが可能になります。
- 2.2.12. **デジタルエンボイデータアクセス (Digital Envoy Data Access)** このデータは Digital Envoy, Inc.により「現状有姿」で提供され、定期的に更新されます。データサービスは、Adobe Analytics Premium Edition により地球にプロットできるデータフィールドを提供します。データフィールドには、名前、市外局番、AS 番号 (Autonomous System Number)、通信事業者、CBSA (コアベース統計地域)、都市、会社、接続、国、CSA (広域都市圏)、DMA (特定市場地域)、ドメイン、緯度、経度、第一言語、プロキシ名、地域・州のコード、タイムゾーン、郵便番号があります。
- 2.2.13. **クエリーAPI (Query API)** この機能により、API を介して、お客様データにプログラムでアクセスすることが可能になり、ダッシュボード、およびクエリーAPI においてお客様データを処理するその他のレポートングアプリケーションを設定できます。かかるアプリケーションを第三者に配布するために、クエリーAPI を使ってアプリケーションを設定することは禁止されています。



1. **Additional Terms for Adobe Analytics.**

- 1.1. **Definitions.** Unless otherwise defined herein, capitalized terms shall have the meanings ascribed to them in the corresponding Adobe General Terms.
 - 1.1.1. **CPMM:** means cost per million.
 - 1.1.2. **Primary Server Call:** means each page view, exit link, download, custom link, or other event on the Customer Site(s) to the extent that Customer tags, allows to be tagged, or causes to be tagged such page views, exit links, downloads, custom links, and other events for purposes of accessing and using Adobe Analytics. Each tagged page view, exit link, campaign container request, download, custom link, or other event will be counted as one Primary Server Call.
 - 1.1.3. **Report Suite:** means a repository of Customer Data within the Adobe Analytics platform pertaining to a specific source of traffic that has been identified by Customer. Customer shall be responsible for maintaining sufficient internet and telecommunication requirements in order to access and use the OnDemand Services.
 - 1.1.4. **Secondary Server Call:** means each duplicate page view, exit link, download, custom link, or other event on the Customer Site(s) to the extent that Customer enables multi-suite tagging or real-time segmentation of Customer Data using VISTA rules (Visitor Identification, Segmentation and Transformation Architecture) on such Customer Site(s).
 - 1.1.5. **User:** means only employees of Customer who are authorized and designated by Customer to access Adobe Analytics using a unique password and login ID, as provided exclusively by Adobe.
- 1.2. **Usage.** (i) Users. Unless otherwise specifically limited in the Adobe Sales Order, User Passwords and Log-in ID's for the OnDemand Services will be provided to Customer in an amount mutually agreed upon by Customer and Adobe. Customer acknowledges that each of its Users that access the OnDemand Services will be bound by the terms and conditions of use required of each such User upon log-in to the OnDemand Services. (ii) Data. Unless otherwise specified in this PDM or in the Adobe Sales Order, data collected from the Customer Site(s) (including data collected in connection with OnPremise Software hosted and managed by Adobe), and data otherwise imported into the Adobe Analytics platform by Customer or its Affiliates, may be permanently deleted by Adobe after twenty five (25) months from the date of collection or receipt.
- 1.3. **Support.** Adobe provides 24x7x365 unlimited access to Adobe Client Care for a maximum of five (5) named Customer technical support contacts. Support includes: Live Phone, Chat, and Email Support from Adobe Client Care; access to the Online Interface for Support Issue Management; access to the Searchable Knowledge Base; and access to On Demand Training Modules.

2. **Adobe Analytics Product and Services Descriptions.**

- 2.1. **Adobe Analytics – Standard Edition.** The Adobe Analytics Standard Edition includes the following components and functionality.
 - 2.1.1. **Reports.** Adobe provides reporting functionality in three main areas: Traffic Reports, Conversion Reports, and Success Events. Each Report may contain up to five-hundred thousand (500,000) unique values or data elements.
 - 2.1.2. **Path Analysis.** Path Analysis provides the ability to report on the path of online visitors and to dissect paths to identify patterns. Path Analysis creates pathing for traffic variables such as Page Name, Site Section, or any Custom Insight variable. Pathing enables reports such as Previous and Next Page Flow reports and the Pathfinder Report.



- 2.1.3. **Report Suite-based Real-Time Segmentation.** This feature allows Customer to segment traffic using distinct Report Suites, i.e. a group of Reports that apply to a designated set of web pages, website(s), or domain(s) that are tagged for reporting as a single unit or account.
- 2.1.4. **User Log-ins.** Adobe provides unique logins for all Users who are authorized to access the reporting interface(s) for the OnDemand Services. Use of the same login ID simultaneously by two (2) or more Users is prohibited.
- 2.1.5. **ClickMap – Display Success Events.** This feature enables ClickMap to display Success Events such as the click event and the purchase event (e.g. orders, units and revenue).
- 2.1.6. **Success Event Participation.** This feature generates reports that show which traffic and conversion variables contributed to a given success event. Customer may also enable page participation tracking for custom events and traffic property participation for the purchase event.
- 2.1.7. **Unique Visitors.** This feature monitors unique visitors to each Report Suite by day, week, and month. Optionally, this feature may measure unique visitors at a more granular level for pages, channels, or any other traffic property by day, week, or month.
- 2.1.8. **Multi-Site Roll-up Accounts.** This feature provides a view of visitor behavior across multiple Customer Sites by aggregating data from multiple Report Suites geographically or organizationally. Multi-Site Roll-up Accounts include data from up to Two Hundred (200) Report Suites, updated daily.
- 2.1.9. **Data Correlation.** Data Correlation allows Customer to view relationships between two (2) or more traffic variables that occur on the same page of a Customer Site or Report Suite. Data Correlation supports a maximum of five-hundred thousand (500,000) unique values per variable per Report Suite.
- 2.1.10. **Conversion Sub-relations.** This feature allows Customer to view relationships between two (2) or more conversion variables and analyze how different combinations affect success metrics and events.
- 2.1.11. **Merchandising.** This feature allows Customer to analyze product performance and how it varies across various merchandising channels, including cross-visit tracking.
- 2.1.12. **GeoSegmentation.** This feature allows Customer to map out visitor location by geographic area.
- 2.1.13. **Hierarchy Reporting.** This feature allows Customer to analyze traffic to sections and sub-sections of a website by aggregating data at the highest levels of a hierarchy and drilling down into increasing levels of detail.
- 2.1.14. **Direct Data Feed.** This feature allows Customer to leverage Adobe Analytics data within Customer's internal data warehouse by receiving a daily export of full click stream or summary level data.
- 2.1.15. **Additional Conversion Variables with Full Sub-relations.** This feature provides Customer with access to granular reporting capabilities by drilling down from one (1) conversion variable into another variable.
- 2.1.16. **Advanced Instances Tracking.** This feature allows Customer to track and analyze "Instances" of sub-relations (i.e. Search Engine, Search Keyword, Referring Domain).
- 2.1.17. **Data Sources.** This feature allows Customer to import data from its internal data stores into the Adobe Analytics platform. For purposes of this feature, one (1) row of data imported represents and is equivalent (for billing purposes) to one (1) Primary Server Call and will be charged in accordance with the Primary Server Call rate set forth in the applicable Adobe Sales Order.
- 2.1.18. **Tag Management.** This feature provides Customer with the ability to host and manage tag libraries for the enablement of certain products and services.
- 2.1.19. **Report Builder.** This feature allows Customer to pull Customer Data into Microsoft Excel and can send data according to a predefined or User-defined schedule and set of instructions (each set of instructions a "Scheduled Report"). This feature is limited to ten (10) Scheduled Reports at any time, and the same login ID may not be used by more than one (1) individual at a discrete moment in time.
- 2.1.20. **Data Warehousing.** This feature provides Customer with the ability to generate custom Reports filtered by any available segmented variable, to define custom visitor segments, and to analyze data dimension

relationships, visitor behavior, conversion rates, revenue, and other pertinent success metrics in order to understand and respond to visitor/activity trends.

- 2.1.21. **Integration Data Sources.** This feature allows Customer to import its own “Transaction ID’s” into the Adobe Analytics platform. For purposes of this feature, one (1) row of data imported represents and is equivalent (for billing purposes) to one (1) Primary Server Call and will be charged in accordance with the Primary Server Call rate set forth in the applicable Adobe Sales Order.
- 2.1.22. **Genesis Integrations.** Using this feature, Customer can integrate data from third party tools with the Adobe Analytics platform. Providers of third party tools may charge fees for the integrations. The fees, if any, will be between Customer and the provider.
- 2.1.23. **Web Services Application Programming Interface (API).** Using this feature, Customer can access Customer Data programmatically through a web services- based API, and thus build dashboards and other reporting applications that automatically process Customer Data within the API. For purposes of this feature, each API request (including but not limited to report requests, status checks, and report retrievals) represents and is equivalent (for billing purposes) to one (1) Primary Server Call and will be charged in accordance with the Primary Server Call rate set forth in the applicable Adobe Sales Order.

2.2. **Adobe Analytics – Premium Edition.** The terms included with the Adobe Analytics Standard Edition (described above) apply to the Adobe Analytics Premium Edition in addition to the following. The Adobe Analytics Premium Edition includes the following additional components and functionality.

- 2.2.1. **Reports.** This feature provides an application that connects to and queries data collected, stored and processed within the Adobe Analytics environment, providing interactive visual analysis and report development. Specific capabilities include data discovery, multi-dimensional analysis, dynamic segmentation, data visualization, visual alerting, system administration and other capabilities for data-driven business professionals.
- 2.2.2. **Flexible and Secure Access Control.** Using this feature, Customer can authorize access requests from system components and access control settings via standards-based Public Key Infrastructure. Public Key Infrastructure is a security management system designed to manage digital certificates for the secure exchange of electronic information, including Lightweight Directory Access Protocol infrastructure support.
- 2.2.3. **External Data Access.** This feature provides an exposed API, enabling data access by any third-party system.
- 2.2.4. **Universal Data Loading.** This feature enables the flexible, extensible, continuous and automated loading of data from data sources through structured flat files, XML files and via ODBC connectivity.
- 2.2.5. **Data Integration.** Using this feature, Customer can integrate external lookup table data containing a common key with available event data.
- 2.2.6. **Data Dimensionalization.** Using this feature, Customer can create flexible data schemas and complex fully-correlated dimensional model support.
- 2.2.7. **Metrics Algebra.** This feature enables the use of User defined calculations that can be applied and persisted across the correlated dimensional model.
- 2.2.8. **Ad Hoc Visual Query and Analysis.** This feature enables ad hoc, point-and-click query definitions and delivers immediate and incremental results in multiple graphical and tabular formats to help make complex information easier to understand.
- 2.2.9. **Dynamic Segmentation.** This feature enables the ad hoc definition, application, and export of segments and filters for any query definable against available multi-dimensional data.
- 2.2.10. **Ad Hoc Report Design.** This feature enables the point-and-click creation of detailed reports and the configuration of their scheduled output.
- 2.2.11. **Geographic Analysis.** This feature provides advanced globe/earth visualizations and related functionality to enable the geographic plotting of data.

- 2.2.12. **Digital Envoy Data Access.** This data is provided “AS IS” by Digital Envoy, Inc. and is updated on a periodic basis. The data service provides the following data fields to be plotted on a globe enabled by Adobe Analytics Premium Edition: name, area code, ASN (Autonomous System Number), carrier, CBSA (Core Based Statistical Area), city, company, connection, country, CSA (Consolidated Statistical Area), DMA (Designated Market Area), domain, latitude, longitude, primary language, proxy name, region/state code, time zone and zip code.
- 2.2.13 **Query API.** This feature provides Customer a means to access Customer Data programmatically through an API, and to configure dashboards and other reporting applications that process Customer Data within the Query API. Customer is prohibited from using the Query API to configure applications for the purpose of distributing such applications to third parties.